

令和4年度

学校評価結果資料



文京区立駕籠町小学校

目 次

- ・ 学校生活についてのアンケート（児童） . . . 1
- ・ 学校教育活動に関する保護者アンケート . . . 2

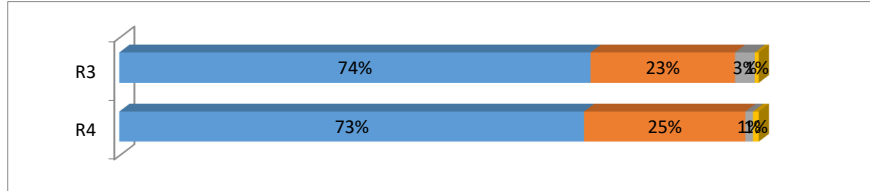
R4学校生活についてのアンケート（児童） 分析及び考察

【1】

■ そうおもう ■ ややそうおもう ■ あまりそうおもわない ■ そうおもわない

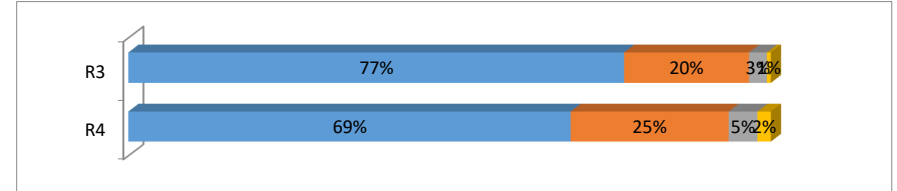
1

質問文: ①学校での教科学習の内容がわかり、だいたいできたと思いますか。



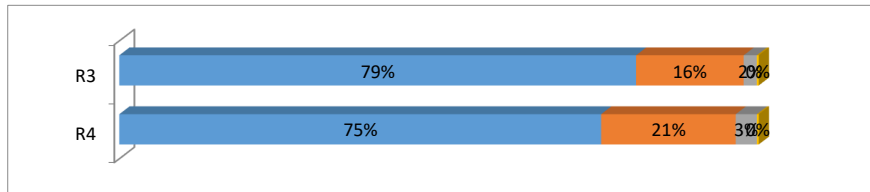
2

質問文: ②自分の思いや考えを伝えあったり、相談したり教えあったりして、学びあうことができますか。



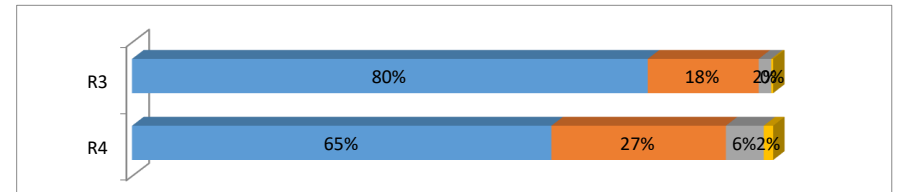
3

質問文: ③体育の学習で、いろんな運動に楽しみながら挑戦し、技能をだいたい身に着けることができましたか。



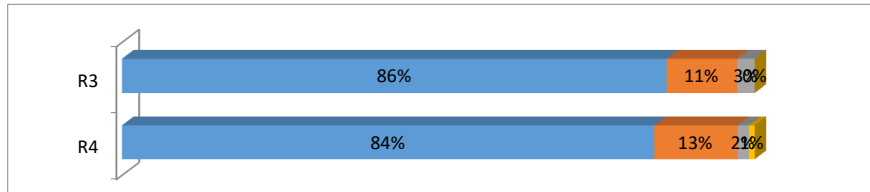
4

質問文: ④自分の課題をみつけて、それを解決しながら楽しく意欲をもって、総合の時間に取り組んでいますか。



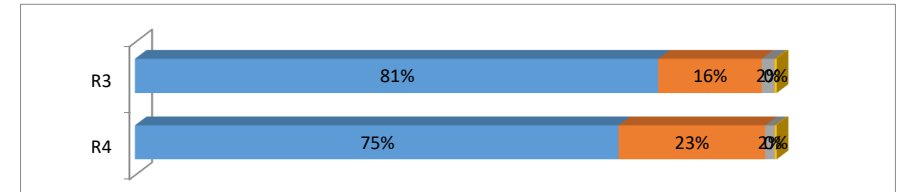
5

質問文: ⑤運動会などの行事にかいっぱい取り組みましたか。



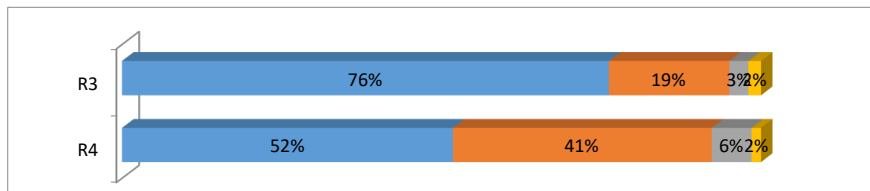
6-1

質問文: ⑥ (1)「駕籠町スタンダード」の大切さがわかり、守って生活していますか。(あいさつ)



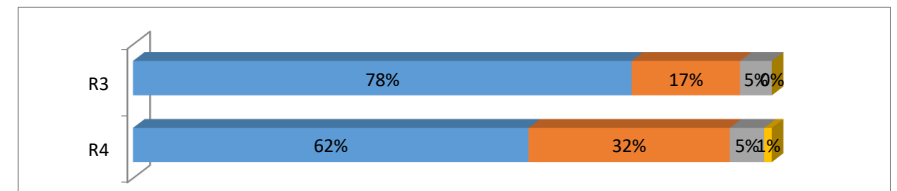
6-2

質問文: ⑥ (2)「駕籠町スタンダード」の大切さがわかり、守って生活していますか。(廊下の歩き方)



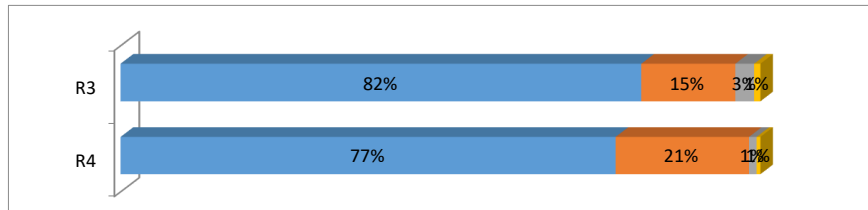
6-3

質問文: ⑥ (3)「駕籠町スタンダード」の大切さがわかり、守って生活しましたか(学習中の姿勢)



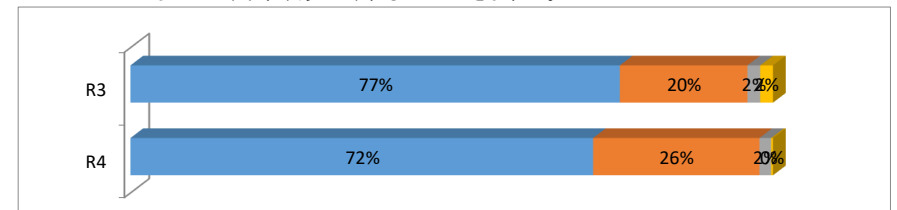
7

質問文: ⑦ 友達のミスや失敗をせめることなく、互いに協力することができていますか。



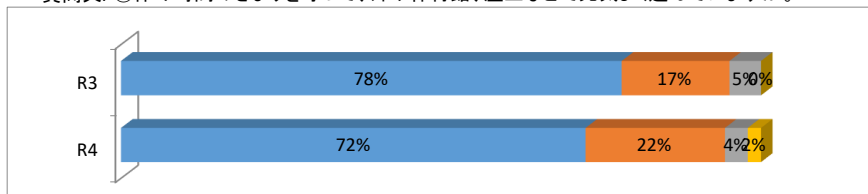
8

質問文: ⑧ いろいろな場面で、自分の気持ちを伝えたり相手の気持ちに気づいたりして、お互いがまんしたりゆずりあったりすることができますか。



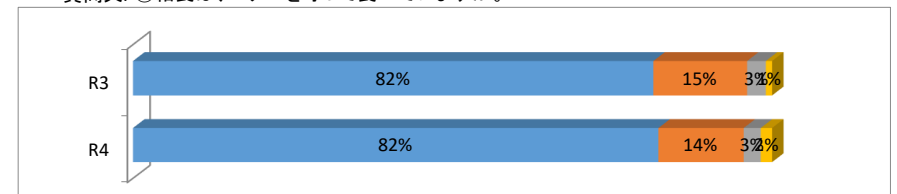
9

質問文: ⑨ 休み時間のきまりを守って、外や体育館、屋上などで元気よく遊んでいますか。



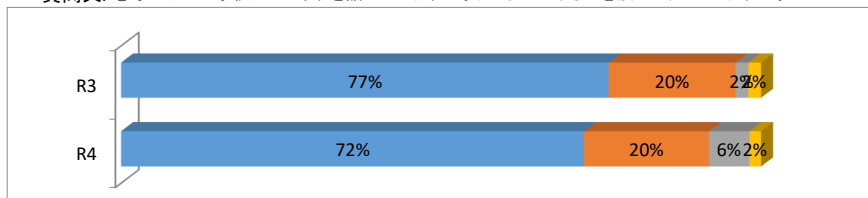
10

質問文: ⑩ 給食は、マナーを守って食べていますか。



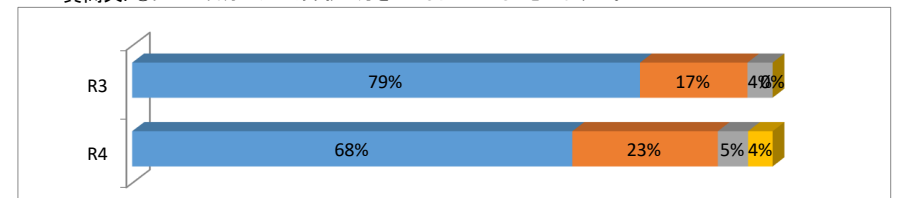
11

質問文: ⑪ 家のひとに学校でのようすを話していますか。またおたよりなどを渡したりしていますか。



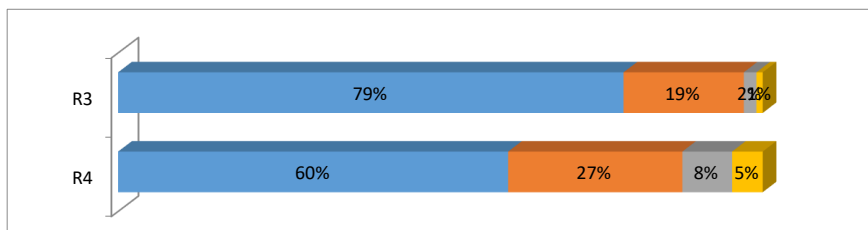
12

質問文: ⑫ 先生に自分の力にあう教え方をしてもらっていると思いますか。



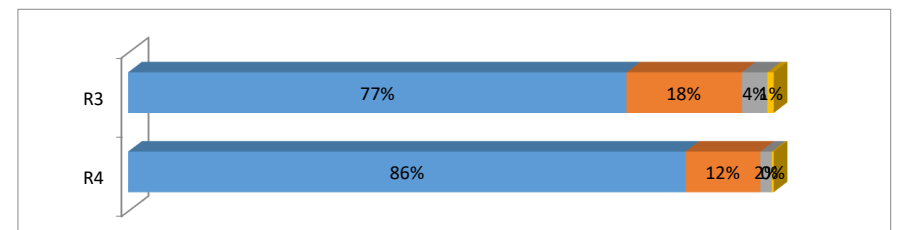
13

質問文: ⑬ 先生と心のつながりを感じ、安心して自分を表現していますか。



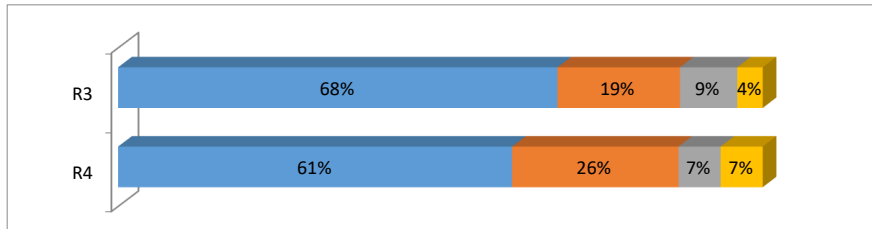
14

質問文: ⑭ クラスの中で友達とかかわる楽しさを感じていますか。



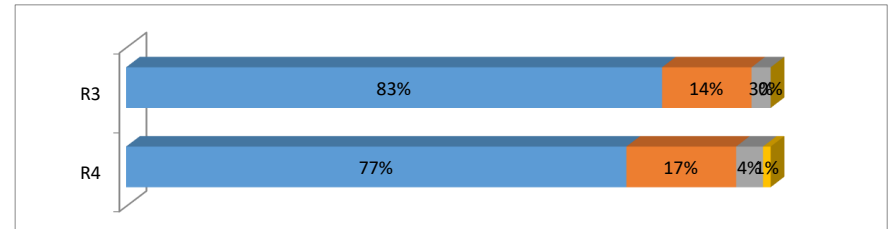
15

質問文: ⑮あなたは、友だちなどにほかれるもの(よいところや優れているところ)があり、自分が好きですか。



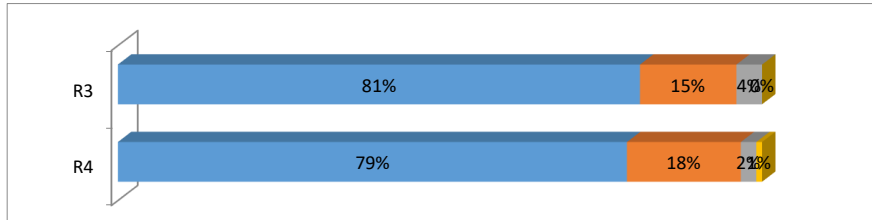
16

質問文: ⑯今、夢中になって取り組んでいるものがありますか。



17

質問文: ⑰あなたは他の人(親・先生・友達など)から大切にされていると思いますか。



今年度からタブレットを使ったアンケートを行った。

○設問2 学び合いについての質問では「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な評価をした児童が90%以上であった。自分の学びに対し、振り返りをし、十分に学習に取り組めた思いをもつ児童が増えたことが考えられる。今後も教師自身が主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、児童が状況に応じて話し合い、達成感を感じることができるような指導の工夫をしていく。

○設問6-1・6-2・6-3 駕籠町スタンダードについては、あいさつや廊下歩行は、昨年度と同様、肯定的な評価が90%に達する結果となった。廊下歩行階段の上り下りを含め、細かく指導したことで、自分の行動を意識して直していることが伺える。学習中の姿勢については、引き続き、丁寧な指導を積み重ねていく。

○設問7 この項目では、ほとんどの児童が、思いやりの気持ちをもって生活することについて、肯定的に評価している。しかし、令和3年度に比べて、「そう思う」の評価が5ポイント下がっている。コロナ禍により校内でも直接的なかわりが減ってしまったことにより思いを実感としてとらえにくくなっていることも一因として考える。今後も、年2回の人権標語(こころ生き生き標語)作成時や、道徳の授業を中心に、相手の気持ちを考えて行動することの大切さを実感できることができるよう指導をしていく。

○設問12 この項目では、令和3年度に比べ、「そう思う」が下がっているが、今年度、「学びを紡いでいく児童の育成」を目指し、教師が一人一人の児童の過程を丁寧に見取り、教師自身が日々自らの授業を振り返った。日々授業改善をすすめたことで児童の一人一人の学びの質は高まってきた。そのことにより、児童の自分を見つめる目が厳しくなった結果と考えられる。今後も児童の主体的な学びを引き出すことができるような授業を行っていく。

○設問13 令和3年度と比べ、「そう思う」が下がっている。今後は教師が、児童のよさを認める言葉掛けやスモールステップにより達成感を感じることができるよう学習指導を行う等、自分の成長や、自分のよさを感じることができるよう活動を常に行っていくようにしていく。また、様々な体験を通して達成感を味わったり、他者から認められたりして、自分への肯定的な気付きを促せるような指導をしていく。

○設問14・17 友達や他の人等の関わりについて、令和3年度に比べ、肯定的な意見が目立った。友達同士の関わりの中で、児童自身の自己肯定感も高まってきていると考える。日々の授業では、自分の学びがどうだったかを適切に振り返りをしたり、行事を行う際に実行委員が自分たちで考え計画を立てたりして進めることができている。その中で友達同士で考えたことを交流し、互いのよさから学び合う姿が多く見られる。そういった活動の積み重ねにより児童の自分自身を見つめる目がより育ってきたのではないかと考える。今後も良さを認め合えるような声掛けや指導をしていくことでかかわりのよさを実感し、その中で自己のよさを自分自身が受けとめられるようにしていく。

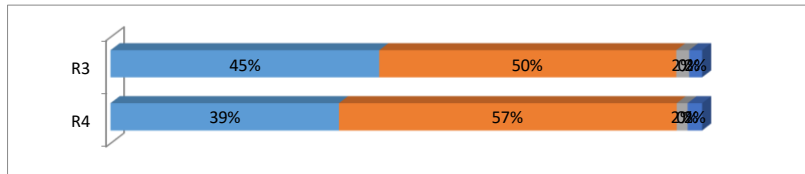
R4学校生活についてのアンケート（保護者） 分析及び考察

【1】

■ とてもあてはまる ■ まああてはまる ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない ■ わからない

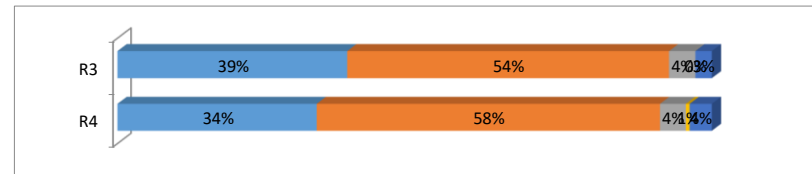
1

質問文：本校の教育活動に満足している



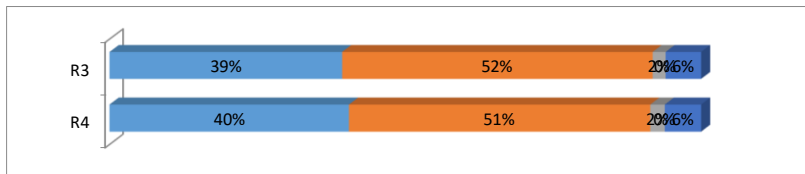
2

質問文：本校の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。



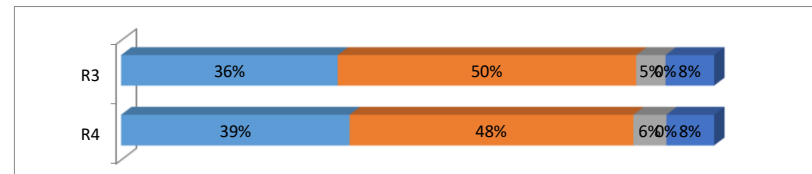
3

質問文：本校では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。



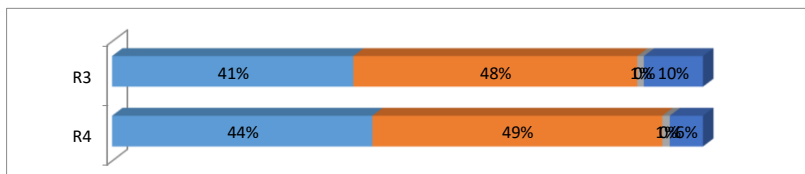
4

本校は、特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる。
質問文：本校の取組：日本の伝統・文化理解教育、体力向上、体育の授業の充実、習熟度別少人数指導、運動会の行事など



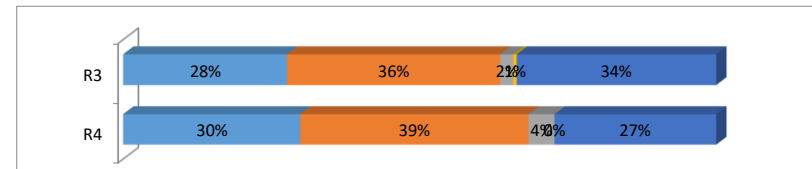
5

質問文：本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。



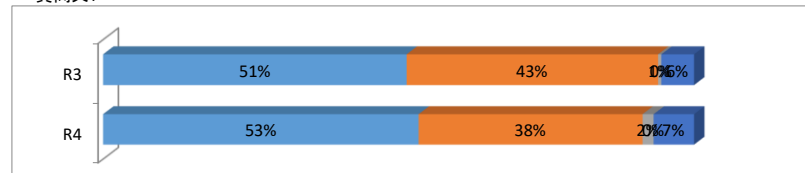
6

本校は、学校生活で起きたいじめ等の問題に対して、素早く適切に対応している。
本校の取組：校長、担任をはじめとした全教職員による声掛け、学校生活のアンケート、学級集団アンケート、スクールカウンセラーとの連携、全員面談など



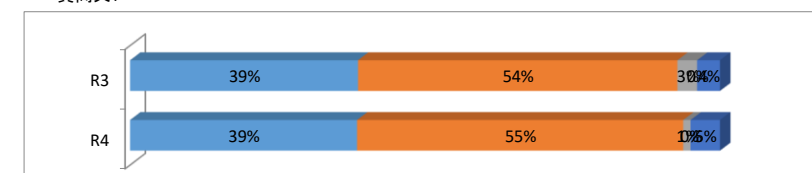
7

本校では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。
本校の取組：避難訓練、安全指導など



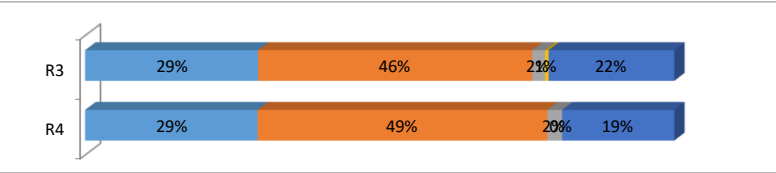
8

本校は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。
本校の取組：学校便り、学年便り、ホームページなど



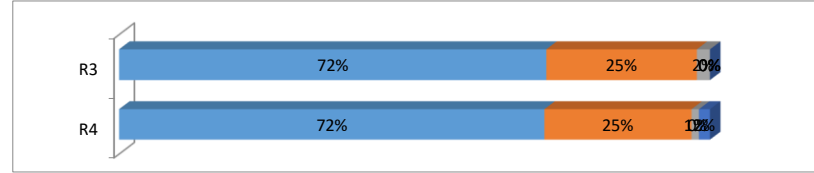
9

本校は、区や学校の方針等に対する保護者の意見・要望に耳を傾け、協力して教育を進めようとしている。



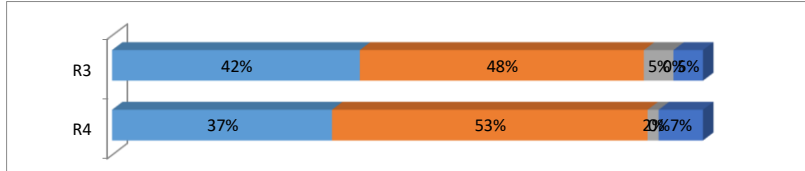
10

質問文： 来校時や電話での本校の教職員のあいさつや対応は、適切である。



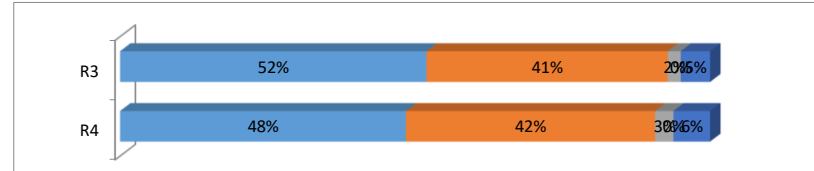
11

質問文： 学校の教育目標や学校経営方針は分かりやすく示されている。



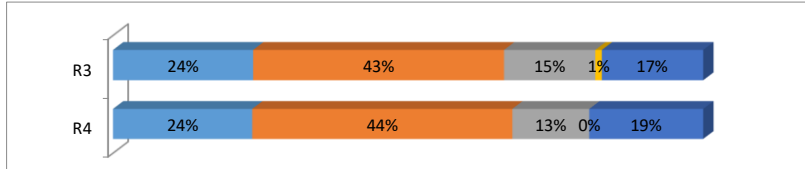
12

質問文： 教室・特別教室・校庭・体育施設・教材教具は、よく整備されている。



13

質問文： 種々の教育活動やボランティアなどに支援や協力が出来ている。(保護者の立場で)



全体的に肯定的な意見が多く、本校の教育活動に一定のご理解をいただけていると考える。

○1, 2, 3について

多少の数値の変動はあるものの、昨年度同様「とてもあてはまる」「まああてはまる」で90%以上の評価をいただいている。「本校の教育活動に満足している」「子どもたちは、学校が楽しいと感じている」「一人一人が大切にされている」の「とてもあてはまる」の割合が大きく変わらない。子どもが大切にされ、楽しく学校生活を送れていることが家庭に伝わっていくことで、保護者の満足につながっていくと考える。

○4, 5について

「とてもあてはまる」の評価が増えている。授業はわかりやすく、特色ある教育がされていると評価をいただいた。

○6について

昨年度と比較して、「とてもあてはまる」「まああてはまる」の割合が増え、「わからない」の割合が減った。いじめへの取り組み、子どもたちの心のケアといった学校の取り組みが伝わるようになってきたと考える。

○7について

「とてもあてはまる」の評価が今年度も過半数を超えている。教職員の、子どもが安全に、安心して学校生活を送れるように、という取り組みが評価された。

○8, 11について

教育目標、学校経営方針等学校の方針や情報について、家庭に伝わっているという評価をいただいている。反面、「保護者の意見・要望に耳を傾けている」では「わからない」が増える。また、今年度に関しては「積極的に」というところはまだ十分ではないことがうかがえる。様々な取り組みを効果的な方法で発信することを考えていく必要がある。

○9, 13について

全体を通して、昨年度から「協力して」を含む項目は「わからない」が多くなる。保護者と連携をどうわかりやすく取っていくか、考えていく必要がある。

○10について

昨年度、今年度とも同数の「とてもあてはまる」「まああてはまる」の割合である。今後も丁寧な対応を心がけていく。

○12について

概ねよい評価をいただいているが、区と連携し、充実した教育活動ができるよう環境整備をしていく。